

ひびきあい「日野のたから」を未来につなぐ 自治の力で輝くまち

7月25日(日)、日野公民館において「未来フォーラムひの」を総合計画懇話会委員の運営により開催しました。このフォーラムは、6月に町長へ提出された「第5次日野町総合計画の策定に関する中間提言」について、広く住民の皆さんにお知らせするとともに、ご意見を伺い、よりよい提言書としてまとめることを目的としました。

当日は、130名を超える参加者のもと、西塚委員の進行で、福本副会長より中間提言の概要説明があり、続いて、懇話会の会長でもある滋賀大学経済学部准教授の只友景士氏が「まちづくり これまでとこれから」と題して講演され、その後、懇話会委員によるパネルディスカッションが行われました。パネルディスカッションについてご報告します。



パネルディスカッション 「日野のたからと未来を語る」

●コーディネーター

日野町総合計画懇話会

会長 只友 景士さん

(滋賀大学経済学部准教授)

●パネラー

日野町総合計画懇話会

委員 青山 茜さん

委員 大河原佳子さん

委員 奥井 悦子さん

委員 北浦 康臣さん

委員 矢島 孝男さん

青山さん

「障がいのある人が地域で暮らすには、サービスや支援、施設などのハード面での整備も必要ですが、開かれた地域の中で障がいのある人がその『存在』を示して暮らしているかどうかが大切であり、それが『住む』ではなく『暮らす』ということであると思います。障がいのあるなしに関わらず、日野というまちで一緒に暮らせることがまちづくりに一番必要だと思えます。また、障がいのある人や高齢者はこれまで、福祉の受け手と思われるしてきましたが、福祉の担い手になれるような機会もあります。例えば、障害のある人が高齢者への配食サービスを行っていることなどです。福祉という『してあげる。してもらう』と考えがちですが、視点を変える必要があるとつくづく思います」



大河原さん

「『住民の力を活かす』ということでは、誰もが住みやすいまちにすべきたと思います。私は20年前に結婚して日野に来ましたが、同じ年代の方とグループを作って地域の中でつながりを持つことが大きかったと思います。『地域を自分たちの力で何とかしよう!』などと意気込まなくとも、小さいことで良いのでつながりを作って活動する。そのようなことが地域の活性化につながると思います。障がい者、高齢者、外国籍の人などをはじめ、『外から嫁いで来たヨソ者』でも、地域の中に入って、それぞれが持つ力を『たから』として活かせるような地域づくりをしていきたいと思えます」



奥井さん

「自分たちのまちは自分たちがつくる。『コミュニティを大事にしよう』という姿勢が重要であると感じました。また、これからのまちづくりには『マネジメント』が非常に大切であると思います。新しい『日野のたから』を見つけ、知り、活用していくためには、住民の知恵とともに現場との協働も含め、いかに『マネジメント』していくかが大切であると感じました」

第5次日野町総合計画

「未来フォーラムひの」を開催!

北浦さん

「各地区において農作物が獣害にあっている現状を考えると、やはり当面はその獣害対策にしっかりと取り組んでいくべきだと思います。しかし、なぜ野生動物が里に出てきたのか、どのようにすれば共存していけるのかを長い目で考え、取り組むことも必要だと思います。まずは、里山リニューアル事業などに取り組んではどうかと思っています。」



矢島さん

「特色ある公民館活動も大きな『だから』のひとつであり、日野の誇れるものだと思います。しかし、時代の変化により、活動の維持が困難にもなってきており、これから工夫していく必要があると思います。今後、公民館に期待する機能として、従来の生涯学習機能のほかに、住民活動の支援機能、集落の自治に関する情報提供やコミュニティビジネス、地域福祉などが担えないかという多くの意見・ニーズが寄せられています。これらに添えていくためには、今までのしくみを変えていく必要があるのでは

はないでしょうか。また、今回の懇話会では『課題を見つけ、学習し、課題解決につなげる』という議論を重ねてきました。まちづくりにみんなが参加できるしくみを創りあげていく視点が行政にも住民にも必要だと思います。『学びを自治の力に据える』ということは非常に大切だと思います。」

只友さん(最後のまとめ)

「懇話会では、今後10

年間の総合計画の提言をまとめていくこととなりますが、単に作って行政にお任せではだめです。早急に公民館の在り方と地区における住民自治のしくみづくりを検討していく必要があります。また、みんながまちづくりに取り組めるしくみづくりも必要で、住民と行政の両方の努力により『日野のだから』をみんなに発見してほしいと思います。まず、だからと課題を発見し、だからを活かして課題を解決する。そういったステップを踏んだ取り組みを実行し、住民が本当に参加できるしくみの中で進め実現していく必要があります。」



基本計画の策定に向けて行政と懇話会の意見交換会を開催



懇話会では、これまでの懇話会の議論が基本計画の策定に反映されるよう、7月27日および30日の2日間、懇話会と行政職員の見解交換会が開催されました。

当日は、懇話会からは只友会長をはじめ各委員が、また、行政からは関係課長をはじめ関係職員等、約30名が参加しました。基本計画の策定に向け、意見交換を行い、双方の意思統一を図る良い機会となりました。

◆問い合わせ先

企画振興課 企画人権担当(役場3階)
☎ 65552 有線 ☎ 889603